

家庭での予防と対策

◆日ごろから災害に備えよう！

平成十九年は死傷者を二千人近く出した新潟県中越沖地震や関東・東北地方に大きな被害を出した台風九号など災害が多く発生しました。台風情報や今年十月からスタートした緊急地震速報等、災害を事前に知ることが出来るようになってきましたが、大抵、災害は突然襲ってくるのです。被害を最小限に食い止めるためには、家庭・職場そして地域において地震・風水害などの災



倒壊する家屋（新潟県中越沖地震）



湾曲した線路（新潟県中越沖地震）

害に対し、日ごろから考え、備えることが重要です。

◆出来ることから始めましょう！

- ①避難場所や経路の確認
災害が発生したら、速やかに避難できるよう、避難場所や経路を確認しよう。
- ②非常・消火用具の用意
もしもの時に備え、非常持出品（貴重品、携帯ラジオ、食料品、水、生活必需品など）や消火器を用意しましょう。
- ③火事を出さない環境づくり
災害時に火災が併発しないよう、

- ④建物などの状況を確認
災害時に家、ブロック塀などの倒壊に見舞われないように、老朽化した建物など計画的に点検しましょう。
- ⑤防災訓練への参加
地域活動を通じて連帯意識を常に持ち、防災訓練などに積極的に参加しよう。



◆地震から身を守るために！

- ①まず身の安全を
倒れやすい家具などから離れ、机やテーブルなどの下に入りましょう。
- ②すばやく火の始末を
身の安全が確保できたら、ストーブやコンロなどの火を素早く消し、ガスの元栓を閉めましょう。
- ③戸を開けて、出口の確保を
建物がゆがみ、戸が開かなくなることがあるので、速やかに出口を確保しましょう。



土砂に埋もれた線路（新潟県中越沖地震）

- ⑥正しい情報の確認を
災害対策本部やラジオなどの情報を確認し、あわてず落ち着いて行動しましょう。

砂川地区広域消防組合
砂川消防署 予防課

特集 3 災害が発生した時のために！！

病院の予防と対策



中空知の地域災害拠点病院である当院は、二十四時間緊急時に対応し、災害発生時には、被災地内の傷病者の受け入れや搬送を行うことが可能な体制を有しております。また、病棟や外来診療部に救急診療に必要な部門を配備し、災害時における患者スペースや簡易ベッド

下等の備蓄スペースも確保しています。

◆当院の予防活動

当院では二年前より大規模災害を想定した訓練を行っております。二〇〇五年には、震度五弱の直下型地震を想定し、消防救急隊、学生、空知医師会など二三〇名の参加により行なわれました。



2005年 大規模災害訓練の様子

約四十名の模擬患者が救急隊により担架でトリアージ場所まで運び込まれ、救護班が重症度を確認するトリアージ訓練を行いました。二〇〇六年にも同様に直下型大地震の想定で災害訓練を実施し、病院としての体制の確認と医師・看護師・消防などが実際に災害が起ったときどのように対応そして連携していくのか再確認しました。

※トリアージとは

災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や程度に応じた適切な搬送・治療を行なうために傷病者の治療優先順位を決定すること。

トリアージタグ

トリアージタグをおこなう際に、傷病者の緊急度や重症度に応じて色分けされたタグにより識別し、医師・看護師はその色分けに応じた対応をおこないます。



2006年 大規模災害訓練の様子

表



裏



トリアージタグ